

事務事業分析シート（平成30年度）

No1

事務事業コード	10-04-01		戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	荒川遊園管理運営費		部課名	子育て支援部荒川遊園課	課長名	山下	
			担当者名	富岡	内線	473	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（30年度）	01-01-01	荒川遊園管理費					
	01-02-01	荒川遊園事業費					
	01-03-01	荒川遊園営繕費					
事務事業の種類	新規事業（30年度 29年度）			建設事業		それ以外の継続事業	
開始年度	昭和	平成	25年度	根拠	都市公園法		
終期設定	有	無	年度	法令等	荒川区立公園条例及び同条例施行規則		
実施基準	法令基準内		都基準内	区独自基準	計画区分	計画	非計画
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市					
	政策	03	子育てしやすいまちの形成				
	施策	01	多様な子育て支援の展開				
目的	都内唯一の区立遊園地として、区内外の人々が楽しく利用できる施設を目指した管理・運営を行うとともに、子育て支援施設の拠点として活用していく。						
対象者等	小さなお子様のいるファミリー層を中心に、その他不特定多数の区内外からの来園者						
内容	<p>【荒川遊園の概要】 総面積50,841㎡ A地区...31,466㎡（有料地区）、B地区...5,234㎡（子どもプール）、 C地区...14,141㎡（地下駐車場）</p> <p>【事業の内容】 遊園地の管理運営 大型遊戯施設、小型遊具、エア遊具、釣堀、動物広場、下町都電ミニ資料館、売店、 水あそび広場、アリスの広場 子どもプールの管理運営及びプール休止期間における施設の有効活用 都市公園の維持管理等 子育て支援施設 授乳室2箇所、おむつ交換所6箇所</p>						
経過	平成元年4月 遊園の管理運営業務をACCに業務委託 平成3年4月 全面リニューアルオープン 平成18年4月 ACCを荒川遊園の指定管理者として指定。 平成20年2月 ふあふあ事故発生 平成20年5月 あらかわ遊園見守り隊発足 平成21年9月～平成22年3月 大型遊戯施設安全総点検及び補修工事の実施 平成23年3月11日、東日本大震災発生。すべての遊具を運行休止、自動販売機の販売中止 平成23年4月 指定管理者制度を廃止、子育て支援部荒川遊園課による管理運営開始 平成23年5月 下町都電ミニ資料館オープン 平成23年9月21日～ 大型遊具全機種について通常運行再開 平成29年4月～ 荒川遊園改修基本計画・基本設計						
必要性	荒川遊園は、区の貴重な観光資源の一つであり、その特色を生かし、安全で安心して楽しく利用できる施設を目指すとともに、子育て支援施設の拠点として活用していく。						
実施方法	（2一部委託）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 委託業務：遊戯施設運転・保守、入園案内、動物飼育、釣堀運営、地下駐車場管理運営、清掃、浄化施設運転管理、子どもプール運営、キャラクターショー						
指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		27年度	28年度	29年度	30年度見込み	目標値(38年度)	
標	入園者数(人)	391,201	404,002	417,549	313,000	450,000	年間入園者総数
	遊戯施設利用者数(人)	1,409,252	1,497,867	1,548,479	1,100,000	1,800,000	大型遊具、小型遊具、ふあふあ遊具利用者
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
30年度		31年度					
重点的に推進	重点的に推進	荒川区の最大の観光資源であり、子育て支援施設の拠点である荒川遊園の改修を成功させることは極めて重要である。					

予算・決算額等の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額		294,024	284,635	300,605	303,952	381,546	410,389	-
決算額(30年度は見込み)		274,441	274,624	280,219	289,766	353,903	338,363	-
実績の推移		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事項名(30年度は見込み)								
入園者数(総数[人])		347,924	356,397	380,291	391,201	404,002	417,549	313,000
子供プール(人)		30,519	31,341	25,133	25,730	23,930	21,069	25,000
遊戯施設利用者数(千人)		1,317	1,300	1,361	1,409	1,498	1,548	1,100
釣堀(人)		31,391	34,920	38,123	40,438	43,000	42,806	32,000
予算・決算の内訳								
平成28年度(決算)			平成29年度(決算)			平成30年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	各種教室講師謝礼	2,484	報償費	各種教室講師謝礼	1,989	報償費	各種教室講師謝礼	2,653
旅費	材料検査旅費(執行委任)	25	需用費	光熱水費、食糧費、一般需要費	33,699	需用費	光熱水費、食糧費、一般需要費	42,283
需用費	光熱水費、食糧費、一般需要費	36,732	需用費	園内各設備小破修繕	7,076	需用費	園内各設備小破修繕	9,909
需用費	園内各設備小破修繕	7,272	需用費	動物・乗物広場小破修繕	10,305	需用費	動物・乗物広場小破修繕	4,681
需用費	動物・乗物広場小破修繕	14,759	役務費	行事保険料、郵便料	14	委託料	入園業務委託、地下駐車場運営委託等	135,877
役務費	行事保険料、郵便料	14	役務費	子どもプール水質検査	28	委託料	遊戯施設保守、動物飼育委託	138,401
役務費	子どもプール水質検査	28	委託料	入園業務委託、地下駐車場運営委託等	75,207	工事請負費	観覧車・メリーゴランド更新工事等	696,000

(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目		28年度	29年度	差額	勘定科目	28年度	29年度	差額
	給与関係費		19,540	20,780	1,240		地方税	0	0
物件費		261,085	255,316	5,769	国庫支出金	0	536	536	
維持補修費		46,397	50,747	4,350	都支出金	0	0	0	
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
補助費等		2,493	2,328	165	使用料及び手数料	261,617	269,078	7,461	
減価償却費		88,315	90,648	2,333	その他	12,784	12,953	169	
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)	274,401	282,567	8,166	
賞与・退職給与引当金繰入額		1,060	8,895	7,835	行政収支差額(a)-(b)=(c)	152,239	176,118	23,879	
その他行政費用		7,750	29,971	22,221	金融収支差額(d)	0	0	0	
行政費用合計(b)		426,640	458,685	32,045	通常収支差額(c)+(d)=(e)	152,239	176,118	23,879	
特別費用(g)		0	1,825	1,825	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	1,825	1,825	当期収支差額(e)+(h)	152,239	177,943	25,704	

備考 大型遊戯施設利用者の増加により、行政収入の使用料及び手数料が7,461千円増加した。また、荒川遊園改修工事に関する設計委託料(23,120千円)他を投資的経費として支出したため、その他行政費用が前年度から大幅に増加している。

問題点・課題 巡回等による自主点検と法定点検、迅速な修繕を実施する他、荒川遊園見守り隊との連携により施設の安全性を高めていく必要がある。
即時性のある情報提供のほか、多様なイベント等を実施してリニューアルまで園のPRを継続していく必要がある。
基本設計に基づいた実施設計、改修工事の実施により、荒川遊園の更なる魅力向上を図っていく必要がある。

問題点・課題の改善策

	平成29年度に取り組み具体的な改善内容	平成29年度に実施した改善内容および評価	平成30年度以降に取り組み具体的な改善内容
	荒川遊園見守り隊及び荒川遊園安全管理委員会を中心とした安全管理を、さらに推進、徹底していく。	見守り隊及び安全管理委員会等における意見に基づき、点検項目を増やすなど利用者の安全確保のための取組を強化した。	見守り隊、安全管理委員会運営の他、巡回点検を強化することで、誰もが安全に楽しめる環境作りをさらに推進していく。
	新たな全国連携事業を実施するとともに広報も積極的に行い、荒川遊園の更なる魅力向上及び利用者数の拡大を図る。	水辺フェスタ、「雪であそぼう」のほか、夜間開園にあわせて秋田竿燈まつりを開催し、多くの来園者で賑わった。	クロージングイベントの開催に加え、全国連携事業や夜間開園を引き続き実施し、区内外への魅力発信を継続していく。
	改修基本計画及び基本設計を策定し、それに基づき計画的・効率的に改修を行っていく。	改修基本計画及び基本設計を策定し、荒川遊園改修に向けて着実に準備を整えた。	改修実施設計により、改修内容の詳細を決定し、それに基づき改修工事に着手する。

他区の実況	(実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区)
23区唯一の区立遊園地	

況議(要質問状) 【平成28年度2月会議】 改修期間中は全面休園か、一部休園かについて精査を、一球さん号、スワンの池、クラフトハウスの有効活用を、植栽、花のコンテナの全面的な見直しを、イルミネーションをするべき、夜間営業に向けた営業時間の見直しを、リニューアルに合わせて入園料の改定を、来園者を遊園周辺へ回遊させるべき、旧小台橋小跡地の遊園拡張地を子育て支援の森に